

平成10年三重県消費者物価の動向

1 概要

県……平成10年三重県消費者物価指数は、平成7年を100とした総合指数で102.4となり、前年に比べ0.7%上昇しました。

平成元年以降の総合指数の対前年の上昇率をみると、平成元年は4月からの消費税の導入もあって2.4%の上昇となった後、2年が2.8%、3年が3.0%と上昇幅が拡大しました。しかし、4年からは2%を下回り、4年が1.3%、5年が1.0%、6年が1.7%、7年が1.6%、8年が0.1%、9年が1.6%の上昇で推移した後、10年は天候不順による生鮮野菜の高騰及び9年に医療費の自己負担率が引き上げられた影響が残り0.7%の上昇となりました。

なお、持家の帰属家賃を除く総合指数は102.2となり、前年に比べ0.9%上昇しました。国……平成10年全国消費者物価指数は、平成7年を100とした総合指数で102.5となり前年に比べ0.6%上昇し、平成9年の1.8%の上昇率と比べ上昇幅が縮小しました。

(図1、表1)

図1 消費者物価指数及び対前年比

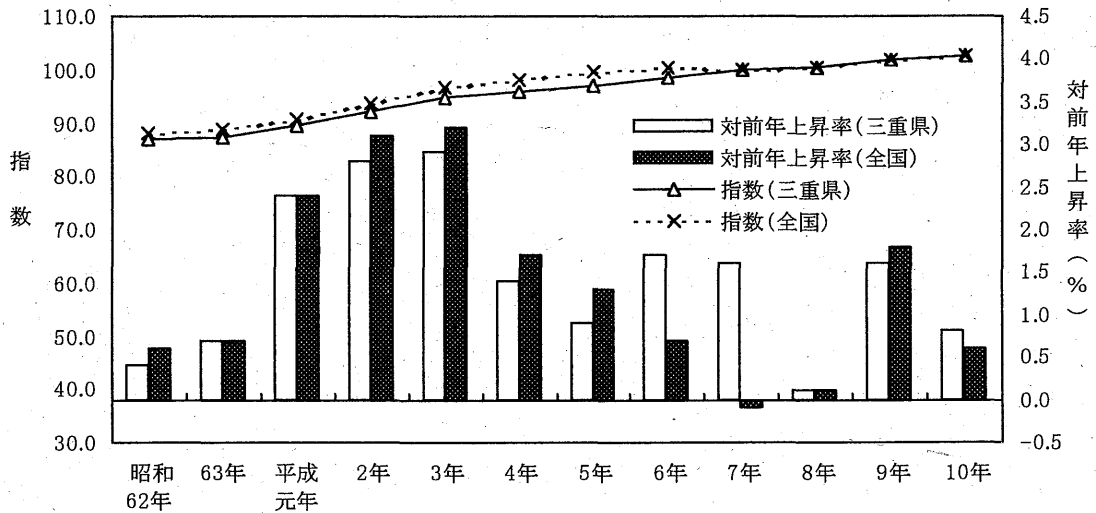


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

	県				全国					県				全国			
	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)		総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)
昭和60年	86.4	-	88.5	1.8	87.4	2.0	88.5	2.1	平成4年	95.9	1.4	97.7	1.1	98.1	1.7	98.7	1.6
昭和61年	86.7	0.3	88.8	0.3	88.0	0.7	88.9	0.5	平成5年	96.8	0.9	98.7	1.0	99.4	1.3	99.8	1.1
昭和62年	86.7	0.0	88.5	-0.3	88.0	0.0	88.7	-0.2	平成6年	98.4	1.7	99.6	0.9	100.1	0.7	100.3	0.5
昭和63年	87.3	0.7	88.9	0.5	88.6	0.7	89.1	0.5	平成7年	100.0	1.6	100.0	0.4	100.0	-0.1	100.0	-0.3
平成元年	89.4	2.4	91.1	2.5	90.7	2.4	91.2	2.4	平成8年	100.1	0.1	99.9	-0.1	100.1	0.1	100.0	0.0
平成2年	91.9	2.8	93.8	3.0	93.5	3.1	94.0	3.1	平成9年	101.7	1.6	101.3	1.4	101.9	1.8	101.6	1.6
平成3年	94.6	2.9	96.6	3.0	96.5	3.2	97.1	3.3	平成10年	102.4	0.7	102.2	0.9	102.5	0.6	102.3	0.7

※ 持家の帰属家賃を除く総合

2 年間の動き

平成 10 年の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について月別に対前年同月上昇率で見ました。

1月は魚介類の生鮮魚介及び保健医療サービスが前年の価格水準を大きく上回ったことにより1.4%上昇、2月も同様の理由により1.6%上昇し、3月は野菜・海藻の生鮮野菜が値上がりしたことから1.8%上昇しました。

4月は教育の授業料等及び保健医療サービスが値上がりしたことにより0.2%上昇しました。

5月は野菜・海藻の生鮮野菜の値上がりにより0.4%上昇、6月は衣料が値上がりしたため0.3%上昇し、7月は他の光熱や家庭用耐久財の値下がりにより0.1%減少しました。

8月は全体的に見て、変化が少なく前年と同じでした。

9月は、他の光熱や家庭用耐久財の値下がりにより0.1%減少しました。

10月以降は天候不順による野菜・海藻の生鮮野菜の値上がりにより0.9%上昇、11月も同様の理由により1.3%、12月は1.1%上昇しました。(図2、表2)

図2 月別の動向

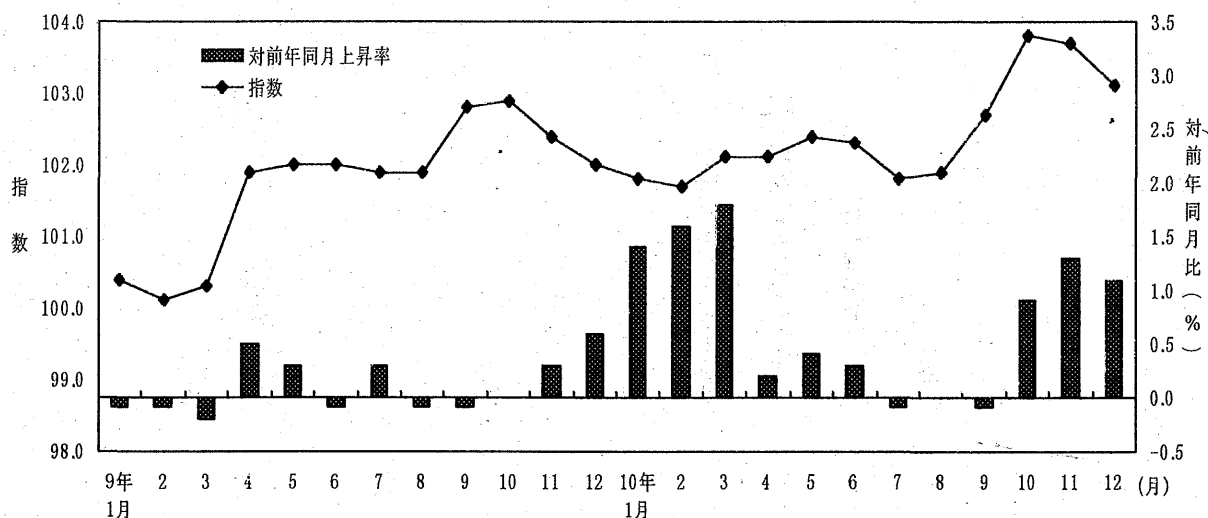


表2 対前年同月上昇率

単位: %

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	県	1.4	1.6	1.8	0.2	0.4	0.3	-0.1	0.0	-0.1	0.9	1.3	1.1
	全国	1.8	1.9	2.2	0.4	0.5	0.1	-0.1	-0.3	-0.2	0.2	0.8	0.6
持家の帰 属家賃を 除く総合	県	1.7	1.9	2.2	0.2	0.5	0.3	0.0	0.0	-0.2	1.0	1.4	1.4
	全国	2.0	2.0	2.3	0.3	0.5	0.0	-0.3	-0.5	-0.3	0.2	0.9	0.6

3 費目別の動き

(1) 食料

食料の費目別指数は102.6となり、前年に比べ1.4%上昇しました。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介がおおむね前年の価格水準を上回って推移し、4.9%上昇しました。

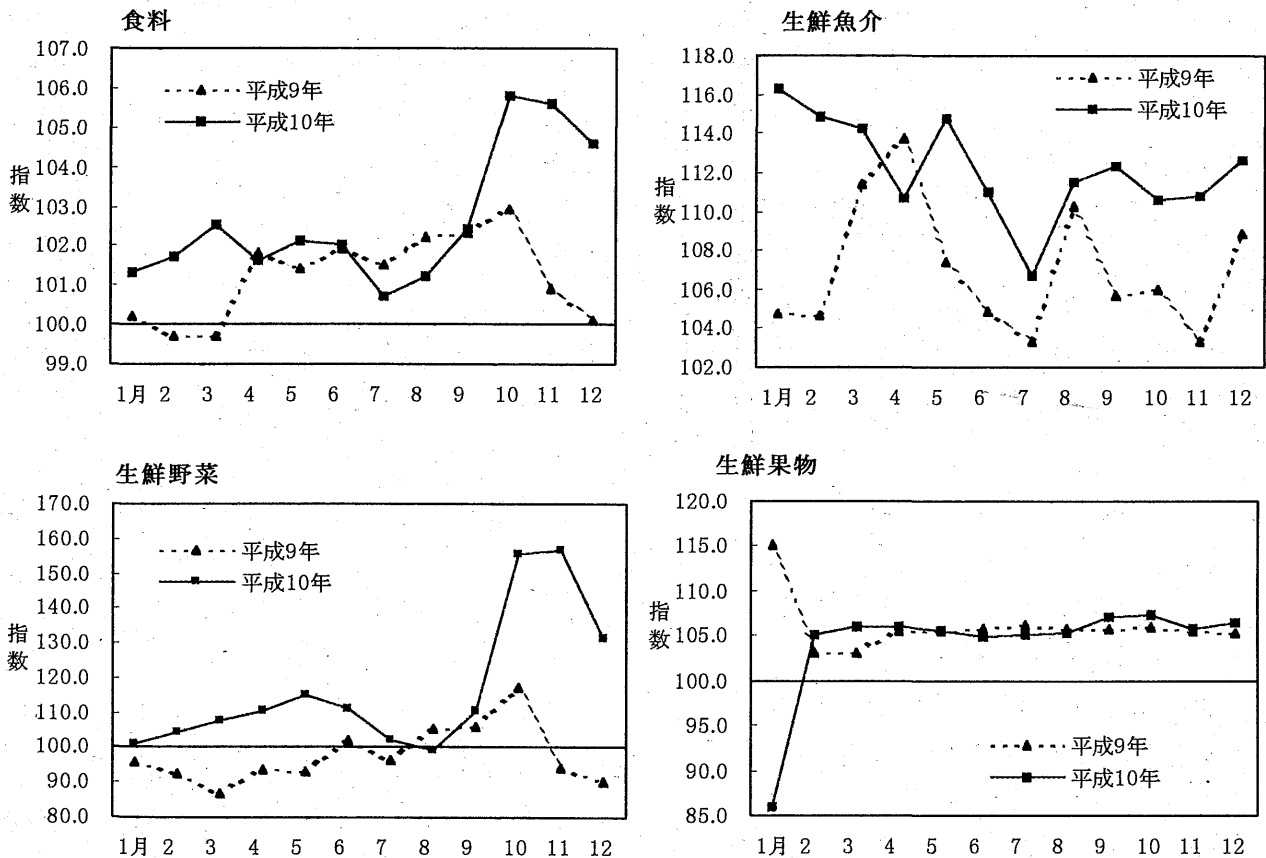
生鮮野菜は、1～5月、10～12月の天候不順の影響などにより前年の水準を大きく上回り19.8%上昇しました。

生鮮果物は、1月が前年と比べ大幅に下落したものの、2月以降は、前年の価格水準で推移し1.4%下落しました。

生鮮食品以外をみると、上昇した主なものは、外食が0.4%、調理食品が0.1%上昇しました。

また、下落した主なものは、油脂・調味料が1.4%、乳卵類が4.8%、穀類が2.4%下落しました。

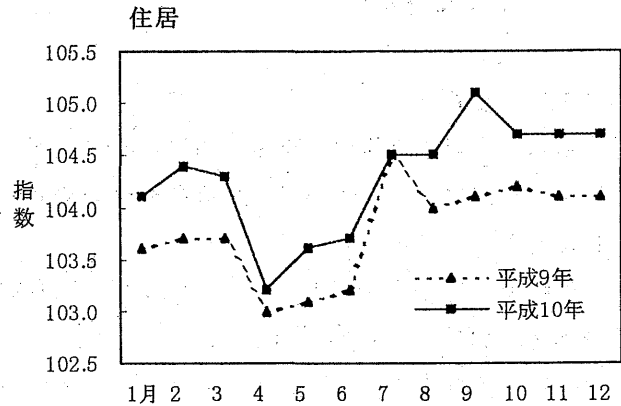
(図3、表3)
※以下(10)諸雑費まで
参照図表同じ



(2) 住居

住居の費目別指数は104.3となり、前年に比べ0.5%上昇しました。

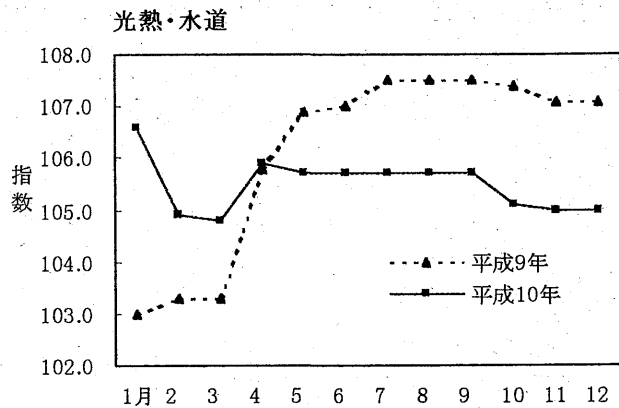
内訳をみると、家賃が「民営家賃」の値上がりにより0.3%、設備修繕・維持が「浴槽」、「左官手間代」、「塀工事費」などの値上がりにより1.5%上昇しました。



(3) 光熱・水道

光熱・水道の費目別指数は105.5となり、前年に比べ0.6%下落しました。

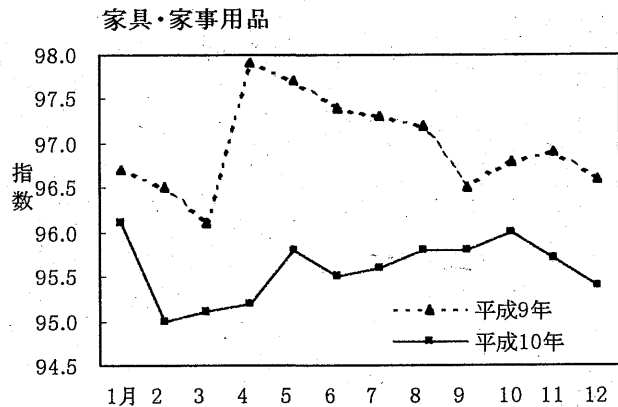
内訳をみると、他の光熱が「灯油」の値下がりにより8.4%、電気・ガス代が「電気代」の値下がりにより1.5%、下落しました。



(4) 家具・家事用品

家具・家事用品の費目別指数は95.6となり、前年に比べ1.4%下落しました。

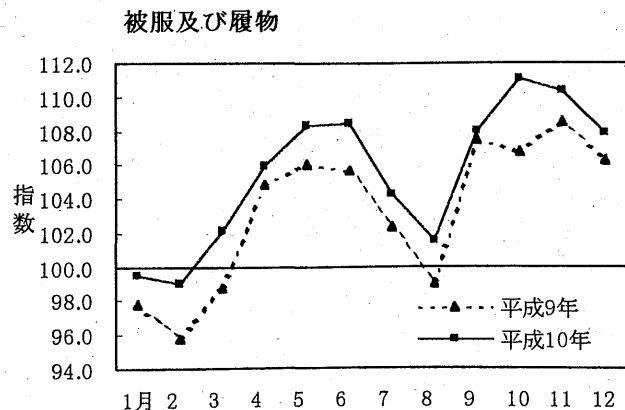
内訳をみると、家庭用耐久財が「ルームエアコン」、「電気アイロン」などの電化製品を中心に値下がりし、7.4%下落しました。



(5) 被服及び履物

被服及び履物の費目別指数は105.5となり、前年に比べ2.1%上昇しました。

内訳をみると、衣料が「男子ウール着物」、「男子上着」などの値上がりにより3.3%、シャツ・セーター・下着類が「スポーツシャツ(長袖)」、「ワイシャツ(半袖)」などの値上がりにより1.4%、生地・他の被服



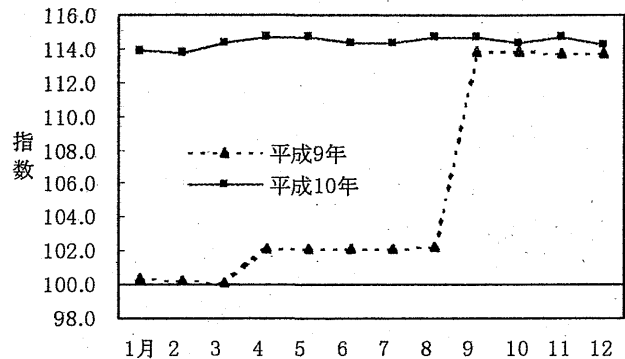
類が「ベルト」、「ネクタイ」などの値上がりにより 1.0%、履物類が「男子革靴」、「運動靴」などの値上がりにより 0.8%上昇しました。

(6) 保健医療

保健医療の費目別指数は 114.4 となり、前年に比べ 8.3%上昇しました。

内訳をみると、保健医療サービスが 9 年に医療費の自己負担率が上げられた影響が残り「診察料」、「入院費」などが 14.7%、医薬品が「胃腸薬（複合胃腸剤）」、「ドリンク剤」、の値上がりにより 2.2%、保健医療用品・器具が「浴用剤」、「体温計」などの値上がりにより 0.7%上昇しました。

保健医療

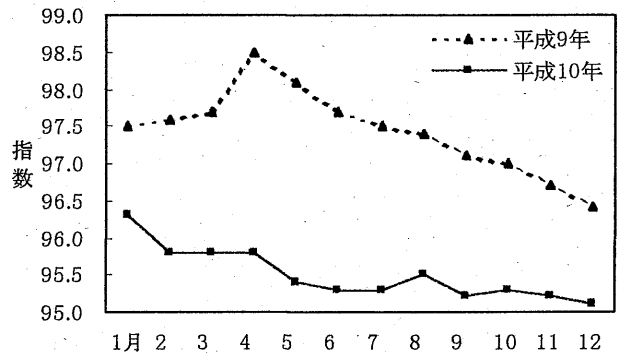


(7) 交通・通信

交通・通信の費目別指数は 95.5 となり、前年に比べ 2.0%下落しました。

内訳をみると、交通が「鉄道運賃」、「航空運賃」の値上がりにより 0.6%上昇したものの、自動車等関係費が「ガソリン」、「自転車」、「自動車整備費」などの値下がりにより 3.3%、通信が「通話料」の値下がりにより 2.1%下落しました。

交通通信

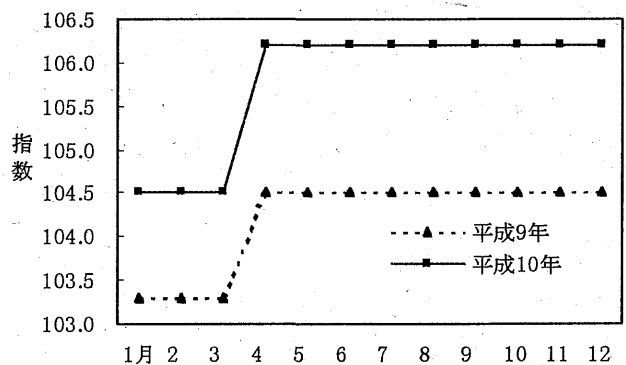


(8) 教育

教育の費目別指数は 105.8 となり、前年に比べ 1.5%上昇しました。

内訳をみると、授業料等が「PTA会費」、「授業料」などの値上がりにより 2.1%、教科書・学習参考書が「教科書」の値上がりにより 1.8%上昇しました。

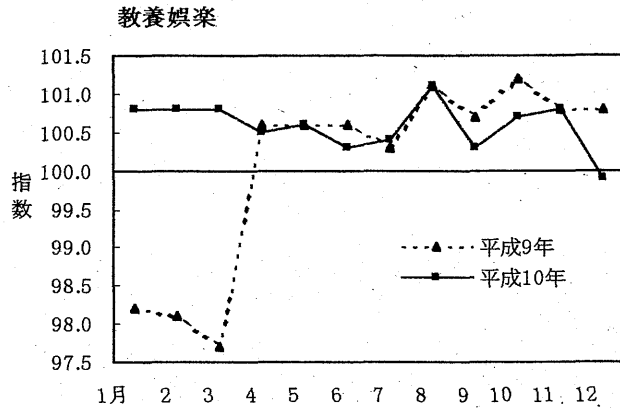
教育



(9) 教養娯楽

教養娯楽の費目別指数は100.6となり、前年に比べ0.5%上昇しました。

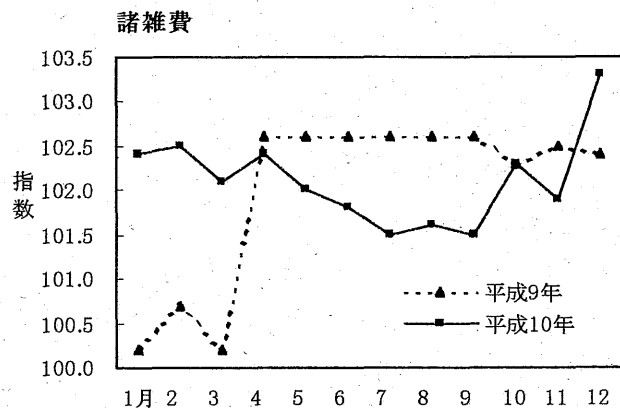
内訳をみると、教養娯楽用耐久財が「テープレコーダー」、「テレビ修理代」、楽器が「ピアノ」などの値上がりにより1.7%、他の教養娯楽が「ボールペン」、「登山靴」などの値上がりにより0.4%上昇しました。



(10) 諸雑費

諸雑費の費目別指数は102.1となり、前年に比べ0.1%上昇しました。

内訳をみると、理美容用品が「電気かみそり」、「シャンプー」などの値下がりにより2.5%下落したものの、理美容サービスが「ヘアカット代」、「パーマ代」などの値上がりにより1.5%上昇しました。



4 寄与度・寄与率

平成10年三重県消費者物価指数は総合でみると前年と比べて0.7%上昇しましたが、これに影響を及ぼした主な費目を中分類別にみました。

寄与度をみると、食料のうちの生鮮野菜が物価全体を0.354%、保健医療のうちの保健医療サービスが0.236%物価を押し上げる方向に働き、交通・通信のうちの自動車等関係費が0.226%物価を引き下げる方向に働いています。

また、上昇率に占める割合を寄与率として100分比で表すと、食料のうちの生鮮野菜が51.4%、保健医療のうちの保健医療サービスが34.3%、交通・通信のうちの自動車等関係費が32.8%となっています。

(図4、表3)

図3 費目別対前年上昇率(%)

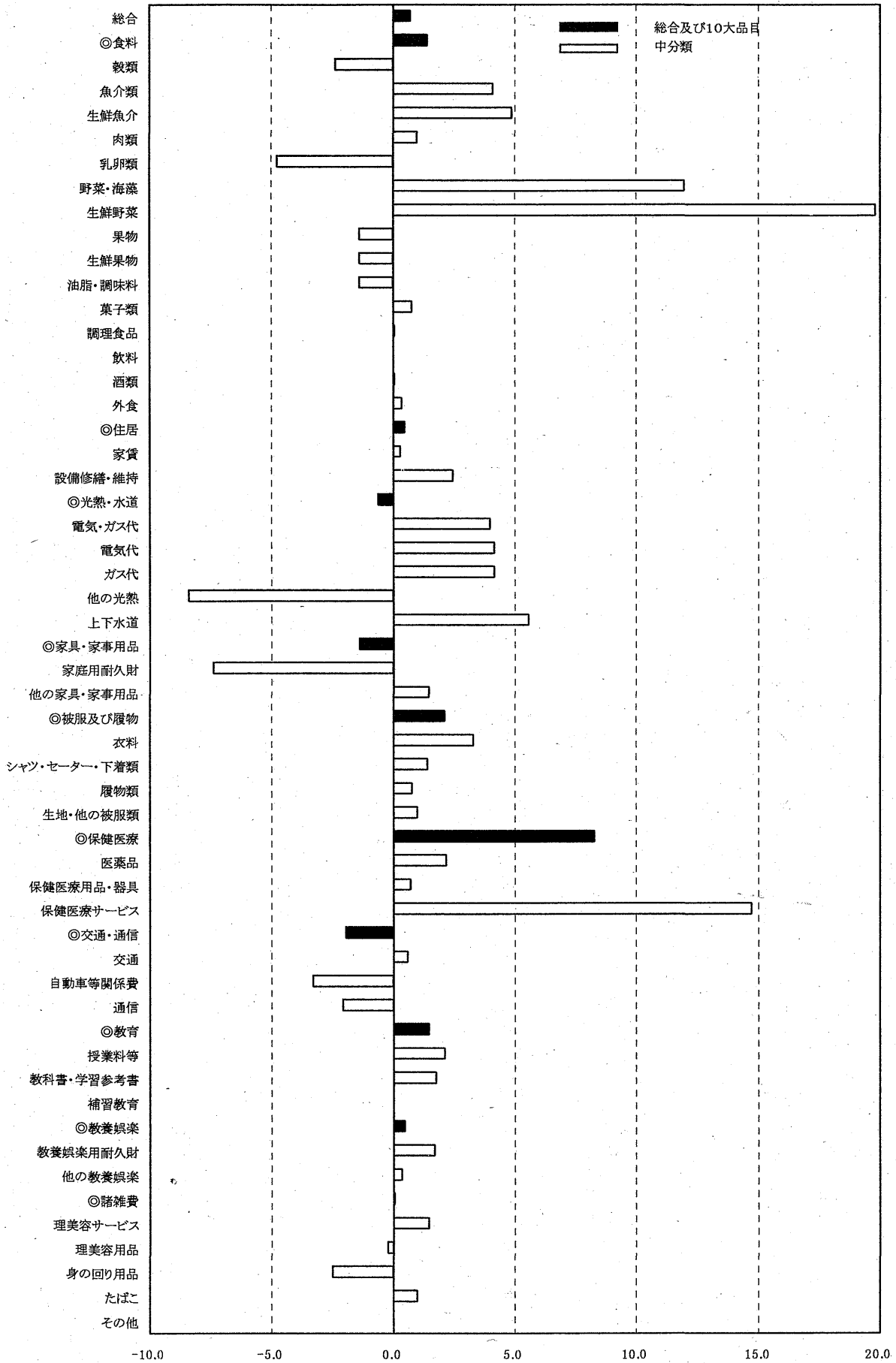
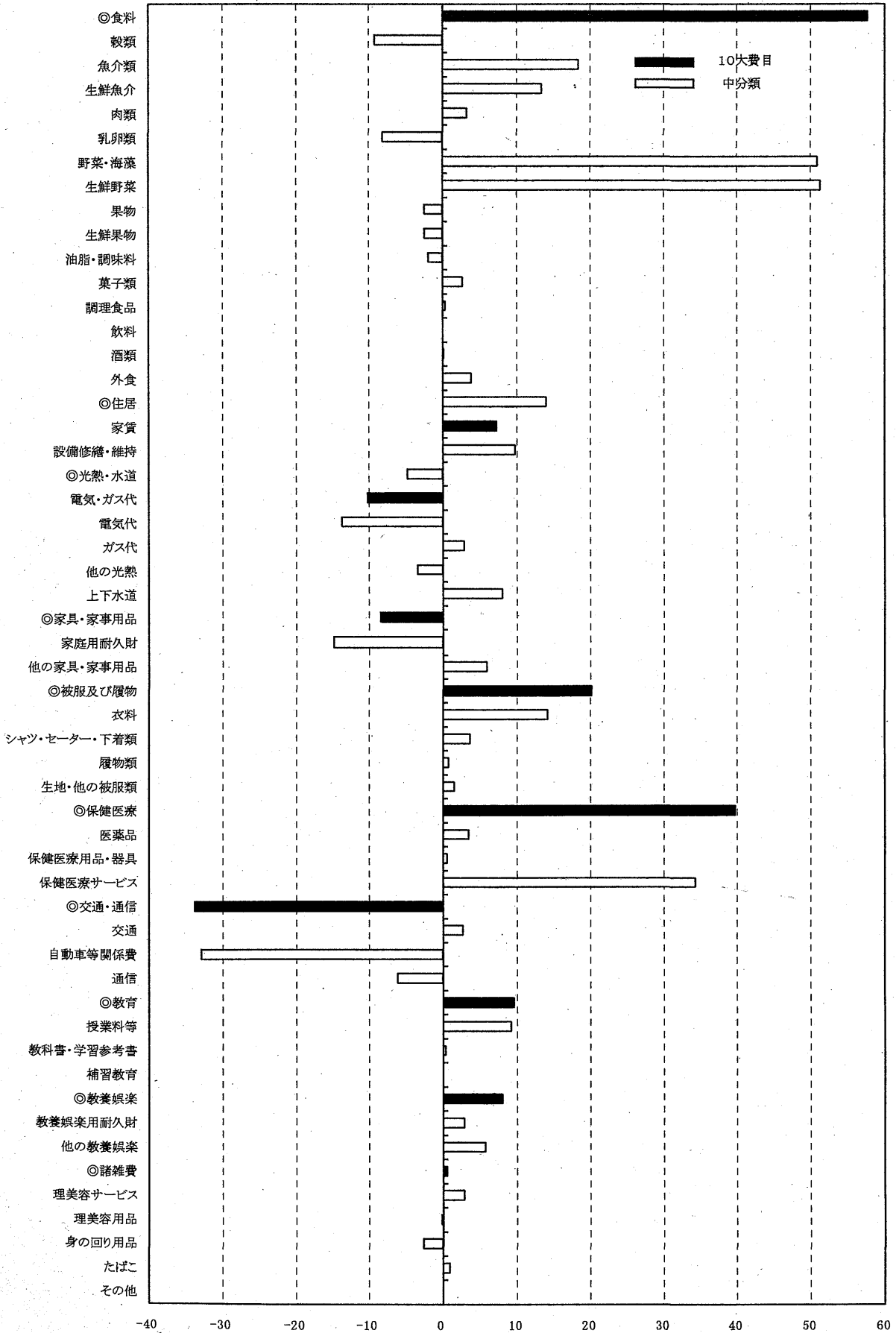


表3 5市平均中分類指数・寄与度・寄与率

平成7年=100

	指 数		対前年上昇率 (%)		寄与度	寄与率 (%)
	平成9年平均	平成10年平均	平成9年平均	平成10年平均	平成10年平均	平成10年平均
総 合	101.7	102.4	1.6	0.7	0.688	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	101.3	102.2	1.4	0.9	0.757	110.0
食 料	101.2	102.6	1.3	1.4	0.397	57.7
穀 類	98.8	96.4	-0.2	-2.4	-0.065	-9.4
魚 介 類	107.0	111.4	3.0	4.1	0.127	18.5
生 鮮 魚 介	107.0	112.2	0.4	4.9	0.092	13.4
肉 類	99.1	100.1	0.3	1.0	0.022	3.2
乳 卵 類	98.1	93.4	-0.3	-4.8	-0.056	-8.1
野 菜 ・ 海 藻	99.0	110.9	2.4	12.0	0.351	51.0
生 鮮 野 菜	97.7	117.0	3.7	19.8	0.354	51.4
果 物	99.7	98.3	-1.5	-1.4	-0.018	-2.6
生 鮮 果 物	100.4	99.0	-1.2	-1.4	-0.017	-2.5
油 脂 ・ 調 味 料	97.5	96.1	-0.5	-1.4	-0.014	-2.0
菓 子 類	105.0	105.8	2.4	0.8	0.018	2.6
調 理 食 品	100.3	100.4	1.5	0.1	0.003	0.4
飲 料	100.9	100.9	0.8	0.0	0.000	0.0
酒 類	101.1	101.2	1.3	0.1	0.001	0.1
外 食	101.5	101.9	1.7	0.4	0.027	3.9
住 居	103.8	104.3	2.5	0.5	0.097	14.1
持家の帰属家賃を除く住居	102.8	104.3	2.0	1.5	0.077	11.2
家 賃	103.8	104.1	2.5	0.3	0.050	7.3
持家の帰属家賃を除く家賃	102.5	102.8	2.1	0.3	0.007	1.1
設 備 修 繕 ・ 維 持	103.2	105.8	1.9	2.5	0.068	9.9
光 熱 ・ 水 道	106.1	105.5	4.8	-0.6	-0.033	-4.8
電 気 ・ ガ ス 代	104.5	102.9	4.1	-1.5	-0.070	-10.2
電 気 代	103.2	99.6	4.2	-3.5	-0.095	-13.8
ガ ス 代	106.7	107.8	4.3	1.0	0.019	2.8
他 の 光 熱	107.2	98.2	7.0	-8.4	-0.025	-3.6
上 下 水 道	114.9	121.3	8.7	5.6	0.055	8.0
家 具 ・ 家 事 用 品	97.0	95.6	-0.7	-1.4	-0.059	-8.6
家 庭 用 耐 久 財	95.5	88.4	-0.5	-7.4	-0.103	-15.0
他 の 家 具 ・ 家 事 用 品	97.8	99.3	-0.8	1.5	0.041	6.0
被 服 及 び 履 物	103.3	105.5	1.4	2.1	0.139	20.2
衣 料	103.5	106.9	1.5	3.3	0.098	14.2
シャツ・セーター・下着類	102.9	104.3	0.1	1.4	0.025	3.6
履 物 類	104.5	105.3	4.1	0.8	0.005	0.7
生 地 ・ 他 の 被 服 類	102.6	103.6	1.8	1.0	0.011	1.6
保 健 医 療	105.6	114.4	5.3	8.3	0.273	39.7
医 薬 品	102.3	104.6	1.3	2.2	0.024	3.5
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	96.7	97.4	-0.2	0.7	0.004	0.6
保 健 医 療 サ ー ビ ス	111.2	127.6	9.9	14.7	0.236	34.3
交 通 ・ 通 信	97.4	95.5	-0.7	-2.0	-0.233	-33.9
交 通 通 信	104.1	104.7	1.2	0.6	0.018	2.6
自 動 車 等 関 係 費	94.2	91.1	-1.5	-3.3	-0.226	-32.8
通 信	98.0	95.9	-1.2	-2.1	-0.043	-6.2
教 育	104.2	105.8	1.4	1.5	0.067	9.7
授 業 料 等	104.0	106.2	1.7	2.1	0.064	9.3
教 科 書 ・ 学 習 参 考 書	102.8	104.6	2.2	1.8	0.003	0.4
補 習 教 育	105.1	105.1	0.5	0.0	0.000	0.0
教 養 娛 楽	100.1	100.6	1.3	0.5	0.056	8.1
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	88.5	90.0	-4.9	1.7	0.020	2.9
他 の 教 養 娛 楽	101.4	101.8	1.9	0.4	0.040	5.8
諸 雑 費	102.0	102.1	1.6	0.1	0.004	0.6
理 美 容 サ ー ビ ス	104.4	106.0	3.4	1.5	0.019	2.8
理 美 容 用 品	99.4	99.2	0.8	-0.2	-0.002	-0.3
身 の 回 り 用 品	101.9	99.4	-0.1	-2.5	-0.019	-2.8
た ば こ	101.7	102.7	1.7	1.0	0.007	1.0
そ の 他	106.3	106.3	0.0	0.0	0.000	0.0

図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与率(%)



5 各市の動き

県内5市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、鈴鹿市の1.1%を最高に、津市と伊勢市が0.6%、上野市が0.3%、尾鷲市が0.1%となりました。(図5)

